

表11.

症例3 32歳、女性、体重51kg、身長159cm 診断：慢性骨髄性白血病（第2慢性期）
 臨床経過：3年前、上記診断にて、hydroxyuria、interferon α にて治療していたが、6ヶ月前、リンパ芽球の急性転化を起こした。VP療法で再び慢性期になり、HLA適合の同胞がおらず、日本骨髄バンクのHLA6座一致ドナーより同種骨髄移植を行うこととなった。前処置は大量 busulfan、cyclophosphamide及び全リンパ節照射を行った。骨髄移植日はWBC2,500/ μ L、Hb11.7g/dL、Plt72,000/ μ L、移植の前処置からこの時点まで輸血は必要としていない。今後、造血が回復するまで血小板輸血はどのようにしますか。

・血小板輸血は計画的に予定しますか。（はい、いいえ）

回答	度数	パーセント	累積度数	累積パーセント
はい	41	24.55	41	24.55
いいえ	126	75.45	167	100

・血小板輸血を計画的に行う場合、1週間に輸血回数は何回ですか。

回答	度数	パーセント	累積度数	累積パーセント
1	3	6.52	3	6.52
2	8	17.39	11	23.91
3	29	63.04	40	86.96
4	5	10.87	45	97.83
5	1	2.17	46	100

・血小板輸血を計画的に行う場合、1回の使用量・単位どれくらいですか。

回答	度数	パーセント	累積度数	累積パーセント
10	39	81.25	39	81.25
15	8	16.67	47	97.92
20	1	2.08	48	100

・血小板輸血を計画的に行わない場合、どのような基準で行いますか。

基準	度数	パーセント	累積度数	累積パーセント
Plt5万/ μ L未満	9	5.45	9	5.45
Plt2万/ μ L未満	114	69.09	123	74.55
Plt1万/ μ L未満	6	3.64	129	78.18
Plt5万/ μ L未満+出血傾向	4	2.42	133	80.61
Plt2万/ μ L未満+出血傾向	20	12.12	153	92.73
Plt1万/ μ L未満+出血傾向	7	4.24	160	96.97
その他	5	3.03	165	100